

【研究課題名】

超原子価ケイ素化学種を利用するオレフィン化反応の開発と反応機構の解明

【各研究項目の連携状況】

領域内の他の研究グループとの連携状況（予定を含む）について、①簡略化した共同研究内容②連携研究代表者姓（研究項目班）③共著論文の有無（件数）を研究内容毎に記載

- 1) ①5 配位アンチモン化合物の異性化機構の解明 ②山本陽介 (A01) ③なし、論文執筆中
- 2) ①5 配位リン化合物を用いるオレフィン化反応の反応機構の解明 ②山本陽介 (A01) ③なし、論文執筆準備中

【原著論文】

1. N. Oka, K. Ori, K. Ando, “Synthesis of 2-pyridylthiophosphinic acids and 2-pyridylthiophosphonate monoesters via nucleophilic aromatic substitution”, *Phosphorus, Sulfur, and Silicon and the Related Elements*, **2017**, *192*, 454-463.

【総説・解説】

1. K. Ando, “Methylenation Reaction of Carbonyl Compounds Using Julia-Kocienski Reactions”, in ‘New Horizon of Process Chemistry by Scalable Reactions and Technologies’ Springer Publisher Company.

【受賞について】

（研究協力者（＝学生， 研究員など）の受賞）

- 2016-10-7：和田朋大（修士課程 2 年），平成 28 年度有機合成化学北陸セミナー、金沢 ポスター賞
2016-11-6：福田茜（修士課程 2 年），第 47 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会、豊橋、ポスター賞